病理診断と
診断根拠の組み合わせ

広島県がん登録室
2026.11.27

⑩病理診断

⑩病理診断	組織型・性状	

病理で診断された形態を反映する項目

ICD-O-3（国際疾病分類腫瘍学 第3版）の形態コードは、
原則として病理学的診断に基づき導かれるものですが
病理学的診断がなされていない腫瘍の記録のため
特別に、新生物・腫瘍，NOS（8000）を用います

診断根拠が顕微鏡的（病理学的）診断でない時に用いてよい形態コード

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍、NOS	9350	頭蓋咽頭腫
8150-8153	膵内分泌腫瘍など	9380	グリオーマ
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9384/1	上衣下巨細胞性アストロサイトーマ
8160/3	胆管細胞癌	9500	神経芽腫〈神経芽細胞腫〉
8170	肝細胞癌	9510	網膜芽腫〈網膜芽細胞腫〉
8270-8281	下垂体腫瘍	9530-9539	髄膜腫
8720	黒色腫（眼又は皮膚に原発の場合）	9590	リンパ腫
8800	肉腫・NOS	9732	多発性骨髄腫
8960	腎芽腫	9761	ワンデンストレーム マクログロブリン血症
9100	絨毛癌	9800	白血病、NOS
9140	カポジ肉腫		

⑬診断根拠

⑬診断根拠				
☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☐ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

病理学的診断

1. 原発巣の組織診

原発巣と考えられる部位から採取された標本の病理組織診により「がん」と診断された場合

2. 転移巣の組織診

転移巣と考えられる部位から採取された標本の病理組織診により「がん」と診断された場合

3. 細胞診

病理組織診では「がん」の診断なく、以下の検査により「がん」と診断された場合
喀痰、尿沈渣、膣分泌物による剥離細胞診、
ファイバースコープなどによる擦過／吸引細胞診あるいは洗浄細胞診を含む
白血病等での末梢血を検体とする検査の結果は、細胞診陽性に含める

4. 部位特異的腫瘍マーカー

以下の場合のみ、部位特異的腫瘍マーカー陽性とする
1) 肝細胞癌（8170/3）でのAFP高値　2)絨毛癌（9100/3）でのHCG高値
3)神経芽細胞腫（9500/3）でのVMA高値
4）ワルデンストレームマクログロブリン血症（9761/3）での免疫グロブリン高値

5. 臨床検査

内視鏡検査、画像診断も含む

6. 臨床診断

1～5の検査では「がん」と診断されなかった場合

9. 不明

「がん」と診断された検査が不明な場合

W4012　診断根拠と組織形態コード・性状が矛盾

警告内容・・・病理診断・形態コードと性状コードの組み合わせに該当する
ICDO-3形態(M)コード定義の診断根拠が0の場合に、診断根拠が下記以外である場合は警告
1（原発巣の組織診）2（転移巣の組織診）3（細胞診）

対処方法・・・診断根拠が病理診断以外で、病理診断に基づく形態コードと性状コードの組み合わせが付与されています。診断根拠が正しければ形態コードと性状コードを、
形態コードと性状コードが正しければ診断根拠の修正を検討してください

（例１）

W4012　診断根拠と組織形態コード・性状が矛盾

⑨原発部位	大分類	肺・気管	
	詳細分類	上葉，肺	C34.1
⑩病理診断	組織型・性状	腺癌，NOS	8140/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☑ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

※病理学的診断が行われていない際に詳細な組織型・性状が入力されている場合、がん登録室から問い合わせの対象となります

（例１）

⑨原発部位	大分類	肺・気管	
	詳細分類	上葉，肺	C34.1
⑩病理診断	組織型・性状	新生物，悪性	8000/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☑ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

※病理学的診断が行われていない場合は、「8000/3」で届出をお願いします

（例１）

⑨原発部位	大分類	肺・気管	
	詳細分類	上葉，肺	C34.1
⑩病理診断	組織型・性状	腺癌，NOS	8140/3

⑬診断根拠	☑ 1. 原発巣の組織診	☑ 2. 転移巣の組織診	☑ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☐ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

※病理学的診断が正しい場合は、診断根拠を１から３でご選択ください

（例２）

W4012　診断根拠と組織形態コード・性状が矛盾

⑨原発部位	大分類	白血病	
	詳細分類	血液	C42.1
⑩病理診断	組織型・性状	急性骨髄性白血病，NOS	9861/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☑ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

※病理学的診断が行われていない際に詳細な組織型・性状が入力されている場合、がん登録室から問い合わせの対象となります

（例２）

⑨原発部位	大分類	白血病	
	詳細分類	血液	C42.1
⑩病理診断	組織型・性状	急性骨髄性白血病，NOS	9861/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☑ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☐ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☐ 9. 不明	

※白血病等での末梢血を検体とする検査の結果は細胞診陽性に含めます

（例３）

W4012　診断根拠と組織形態コード・性状が矛盾

⑨原発部位	大分類	膵	
	詳細分類	膵体部	C25.1
⑩病理診断	組織型・性状	浸潤性導管癌，NOS	8500/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☐ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☑ 9. 不明	

※病理学的診断が行われていない際に詳細な組織型・性状が入力されている場合、がん登録室から問い合わせの対象となります

（例３）

⑨原発部位	大分類	膵	
	詳細分類	膵体部	C25.1
⑩病理診断	組織型・性状	新生物，悪性	8000/3

⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診	☐ 2. 転移巣の組織診	☐ 3. 細胞診		
	☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー	☐ 5. 臨床検査	☐ 6. 臨床診断	☑ 9. 不明	

※病理学的診断が行われていない場合は、「8000/3」で届出をお願いします

ご清聴ありがとうございました